

ベネズエラ

Bolivarian Republic of Venezuela

	2015年	2016年	2017年
①人口：3,143万人（2017年）			
②面積：91万6,445km ²			
③1人当たりGDP：6,684米ドル （2017年）			
④実質GDP成長率（%）	△6.2	△16.5	△14.0
⑤消費者物価上昇率（%）	159.7	302.6	2,818.4
⑥失業率（%）	7.4	20.6	27.1
⑦貿易収支（100万米ドル）	456	n.a.	n.a.
⑧経常収支（100万米ドル）	△16,051	△3,870	△4,277
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	16,367	10,992	9,662
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	n.a.	n.a.	n.a.
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ボリバル、期中平均）	6.3	10 / 673.8	10 / 3,345

〔注〕 ①③⑥⑦⑧⑩と④の2016年は推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）、⑨マクロ安定化基金（FME）を含まず、金を含む、⑪ベネズエラでは為替管理制度に基づき固定相場が採用されており、2013年2月から1ドル=6.3ボリバル、2016年3月から1ドル=10.00ボリバル。2016年3月から固定相場と為替協定35号によりDICOMの運用が開始となったが、実際には2017年5月まで開始されず、為替協定33号に準じた為替制度SIMADI（変動相場制）を併用：（1）固定相場（DIPRO）：1ドル=10.00ボリバル、（2）DICOM（SIMADI）：1ドル=673.80ドル（2016年12月31日時点）。

〔出所〕 ①③～⑥：IMF、②：国家統計院（INE）、⑦～⑪：ベネズエラ中央銀行

2017年のベネズエラ経済は、独裁色を強めるマドゥロ政権下で原油生産は減少、米国などからの制裁措置を受け、債務返済が遅延するなど本格的なデフォルトの懸念は依然として残っている。国内に目を向けると深刻な物資不足やハイパーインフレなどにより国民の生産性は大幅に低下しており、近隣諸国に移り住む人も増えている。

2年連続の2桁マイナス成長

IMF統計によると2017年のベネズエラ実質GDP成長率はマイナス14.0%と、前年（16.5%）に続き、2桁のマイナス成長を記録した。マイナス成長は2014年から4年連続となった。2017年の消費者物価指数（期末値）はIMFによると2,818.4%と前年の302.6%から大幅に上昇した。政府は対抗策として、2017年に6回の最低賃金引き上げ（年率33.4%増）を行ったものの、インフレ上昇率には追いつかず、実質賃金は減少している。こうした経済混乱を収束する緊急的手段として、マドゥロ政権は2018年3月に通貨単位を1,000分の1に切り下げると発表した。

ベネズエラの歳入は96%を原油の輸出入に依存しているため、原油の価格や輸出量により経済が大きく左右される。また、ベネズエラ国営石油公社（PDVSA）傘下の米国子会社シトゴ（CITGO）の米国における精製・流通事業から得られる米ドル建て利潤の還流も重要な収入源だ。しかし、2017年7月に制憲議会選挙が強行されたことを受け、米国は次々と制裁措置を発表し、PDVSAとシトゴの米ドル建て債券の取引を禁止した。外貨準備高は2017年に100億ドルを下回り、96億6,200万ドル（2017年12月29日時点）となっている。また、政府とPDVSAは2017年10月と11月にそれぞれ国債の利子と社債の元本および利子の大きな支払いを行ったが、期日までに債務返済が履行されなかったとして、格付け会社はベネズエラのソブリン債とPDVSA社債格付けを「選択的デ

フォルト（SD）」としており、本格的なデフォルト（債務不履行）の懸念は依然として残っている。

マドゥロ大統領再選により国際社会から孤立

マドゥロ大統領は、2017年8月に制憲議会（注1）を発足させ、10月の統一知事選挙では23州中19州で与党が勝利し、12月の全国市長選挙でも野党連合の棄権により335のうち300以上の選挙区で勝利するなど、国政から地方自治体に至るまで与党勢力で圧倒した。この結果を踏まえ、マドゥロ大統領は2018年5月20日に次期大統領選を前倒しし、2位以下に大差をつけ、再選を果たした。

ロシア、中国は再選を祝福したが、米国政府は「選挙は公正でなかった」とし、ベネズエラ政府の債権や政府系企業の株式に関して米国人の取引を禁止する大統領令を発令するなど、直ちに追加の制裁措置を取った。また欧州諸国やGrupo de Lima（注2）も公正な選挙が行われなかったとし、経済制裁を強化する方針を示唆。マドゥロ大統領の再選により、ベネズエラの孤立がさらに進むことが懸念されている。

非石油部門の貿易赤字が大幅縮小

2017年の貿易（通関ベース）は、輸出（非石油部門のみ）が前年比7.4%減の12億2,800万ドル、輸入は同35.2%減の108億6,700万ドルと、ともに減少した。

表1 ベネズエラの品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2016年		2017年		2015年		2016年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
有機化学品	245	243	19.8	△0.8	鉱物性燃料	1,993	2,042	18.8	2.5
鉄鋼	200	207	16.9	3.7	ボイラー及び機械類、同部品	2,966	1,882	17.3	△36.5
鉱物性燃料	331	205	16.7	△38.0	穀物	780	752	6.9	△3.6
鉱石、スラグおよび灰	68	100	8.1	45.9	電気機器、音響機器、テレビなど	1,117	662	6.1	△40.7
船舶および浮き構造物	36	89	7.3	150.7	鉄鋼製品	614	403	3.7	△34.2
アルミニウムおよびその製品	57	73	6.0	29.3	有機化学品	586	394	3.6	△32.8
肥料	91	68	5.5	△25.5	車両及び同部品 (鉄道除く)	868	343	3.2	△60.5
無機化学品および貴金属	77	46	3.8	△40.1	医薬品	1,189	286	2.6	△76.0
魚並びに甲殻類、軟体動物	51	45	3.6	△12.1	医療機器、検査機器、精密機器等及び同部品	459	230	2.1	△49.8
プラスチックおよびその製品	18	38	3.1	113.4	プラスチックおよび同製品	320	208	1.9	△35.2
合計 (その他含む)	1,326	1,228	100.0	△7.4	合計 (その他含む)	16,758	10,867	100.0	△35.2

[注] 輸出は非石油部門のみ。

[出所] 輸出：SICEX貿易データベース、輸入：Global Trade Atlas

表2 ベネズエラの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	384	286	23.3	△25.4	6,004	5,365	49.4	△10.6
米国	302	252	20.5	△16.7	5,211	4,133	38.0	△20.7
メキシコ	81	34	2.8	△58.3	600	1,080	9.9	79.9
カナダ	1	1	0.1	△1.1	193	152	1.4	△21.0
中南米	513	533	43.4	3.8	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
アルーバ(蘭領)	121	116	9.5	△3.8	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
コロンビア	102	115	9.3	13.0	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
ブラジル	117	100	8.2	△14.5	1,276	470	4.3	△63.2
キュラソー (蘭領)	39	59	4.8	50.0	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
トリニダード・トバゴ	43	58	4.7	34.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
チリ	36	24	1.9	△35.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
欧州	234	248	20.2	6.0	2,345	1,224	11.3	△47.8
イタリア	35	76	6.2	118.0	344	229	2.1	△33.4
オランダ	88	57	4.6	△34.9	217	101	0.9	△53.3
スペイン	17	35	2.9	112.2	330	171	1.6	△48.3
ベルギー	36	25	2.1	△28.9	183	86	0.8	△52.9
フランス	18	15	1.2	△14.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
アジア・大洋州	75	88	7.2	17.9	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
中国	48	60	4.9	24.3	5,336	2,578	23.7	△51.7
ベトナム	15	15	1.2	0.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
日本	4	0	0.0	△97.9	3,556	2,427	22.3	△31.7
中東アフリカ	119	63	5.2	△46.8	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
合計 (その他含む)	1,326	1,228	100.0	△7.4	16,758	10,867	100.0	△35.2

[注] ①輸出は非石油部門のみ。

②地域分類は北米、中南米を除いて日本の外務省基準に基づく。

[出所] 輸出：SICEX貿易データベース、輸入：Global Trade Atlas

輸出を品目別に見ると、最大シェアの有機化学品は前年比0.8%減の2億4,300万ドル、次いで鉄鋼が3.7%増の2億700万ドル、ナフタレンなどの鉱物性燃料（原油、石油製品除く）が38.0%減の2億500万ドルとなった。国・地域別輸出では最大の仕向け地である米国が前年比16.7%減の2億5,200万ドル、中南米域内でも1割近いシェアを持つアルーバ（3.8%減の1億1,600万ドル）や、ブラジル（14.5%減の1億ドル）への輸出が減少した。

輸入を品目別に見ると、最大シェアの鉱物性燃料が20億4,200万ドルで前年比2.5%増と主要品目の中で唯一増加した品目となった。他方、医薬品が76.0%減の2億8,600

万ドル、車両および同部品（鉄道除く）が60.5%減の3億4,300万ドルと大幅に減少した。

国・地域別輸入では全体の4割を占めるなど最大の輸入先である米国からの輸入が前年比20.7%減の41億3,300万ドルとなった。2位の中国は同51.7%減の25億7,800万ドルとなった。

ベネズエラでは石油部門の通関統計が公表されていないことから、輸出仕向け国・地域側の輸入統計でベネズエラ産原油および石油製品の大まかな傾向を把握するしかない。ベネズエラ産原油および石油製品の主要国・地域での輸入額は前年比18.4%増の293億6,800万ドルと増加した。OPECによる減産合意により、ベネズエラ産原油の平均価格は、2016年の1バレル当たり35.15ドルから2017年は前年比32.7%増の46.66ドルに回復したことが大きい。これにより、生産量が2016年の日量平均237万バレルから2017年は前年比13%減の207万バレルまで減少したものの金額ベースではベネズエラからの輸出が増加することとなった。ベネズエラ産原油および石油製品の最大の輸入国は米国で115億6,800万ドル（前年比12.2%増）、2位は中国で67億1,400万ドル（同32.5%増）、3位はインドで58億1,300万ドル（同14.6%増）だった。

国内産業は外貨不足、原材料不足により低迷

ベネズエラ工業連合会（CONINDUSTRIA）が2017年第2四半期に加盟企業に対して行ったアンケート調査によると、2016年の工場稼働率は平均36.9%だったが2017年上半年期の平均は33.6%と3.3ポイントさらに悪化した。国内生産活動の阻害要因（複数回答）としては、「外貨不足」87.7%、「不安定な政治・社会情勢」86.7%、「原材料不足」

76.9%、「国内需要減」73.9%を挙げており、2017年全体の国内景気についても、54%が悪化すると回答している。また、加盟企業の38%が2018年に廃業に追い込まれる可能性がある」と回答している。

特に自動車産業の稼働率は17.5%と最低を記録した。ベネズエラ自動車会議所(CAVENEZ)によると2017年の自動車販売台数は前年比17.6%減の2,479台となった。過去最高を記録した2007年時点の市場規模(49万台)比では99.5%減となっており、2008年のウゴ・チャベス政権と、現在のマドゥロ政権が推進した国家の介入と企業への規制強化により全てが失われたとしている。

■原油の輸入が前年比3.5倍

日本の貿易統計(通関ベース)によると、2017年のベネズエラ向け輸出は7,297万ドルで前年比29.8%減、輸入は1億5,437万ドルで同106.6%増となった。輸出を主要品目別に見ると電動機および発電機の部品がほぼ全増の1,028万ドルと最大となり、次いで気体ポンプ、真空ポンプ、気体圧縮機などが21倍増の942万ドルとなった。2016年の最大品目の乗用車は73.1%減の759万ドルとなった。ベネズエラ国内における自動車生産の落ち込みが影響したものと思われる。

輸入を主要品目別に見ると、原油が前年比約3.5倍の1億3,368万ドルで全体の86.6%を占め、輸入額全体を押し上げた。次いで、カカオ豆が40.0%減の1,273万ドル、非環式アルコール並びにハロゲン化誘導体等が2.7倍の414万ドル、アルミニウムの塊が18.1%減の169万ドルと続いた。

表4 ベネズエラの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
電動機および発電機の部品	9	10,283	14.1	119,656.1	原油	38,735	133,682	86.6	245.1
気体ポンプ、真空ポンプ、気体圧縮機等	448	9,416	12.9	2,003.1	カカオ豆	21,200	12,726	8.2	△40.0
乗用車	28,248	7,585	10.4	△73.1	非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体等	1,526	4,142	2.7	171.5
コック、弁等	5,070	7,043	9.7	38.9	アルミニウムの塊	2,067	1,693	1.1	△18.1
ピストン式火花点火内燃機関	4,049	6,717	9.2	65.9	人造コランダム	127	469	0.3	268.3
自動車用部分品および附属品	5,698	5,251	7.2	△7.9	アルミニウムのくず	264	461	0.3	74.4
炭素電極、電池用炭素棒等	0	3,810	5.2	全増	魚(冷凍したもの)	299	261	0.2	△12.7
貨物自動車	18,564	3,136	4.3	△83.1	エチルアルコールおよび蒸留酒等	176	217	0.1	23.5
液体タービンおよび水車	0	2,053	2.8	全増	魚のフィレその他の魚肉	0	194	0.1	全増
ゴム製の空気タイヤ(新品に限る)	564	1,549	2.1	174.5	軟体動物	0	173	0.1	全増
合計(その他含む)	103,990	72,966	100.0	△29.8	合計(その他含む)	74,708	154,368	100.0	106.6

[出所] 財務省「貿易統計」(通関ベース)

表3 主要国・地域のベネズエラからの原油・石油製品輸入額

(単位:100万ドル、%)

	2016年			2017年			構成比	伸び率
	輸入額		石油製品	輸入額		石油製品		
	原油	石油製品		原油	石油製品		原油	石油製品
北米 (NAFTA)	10,341	9,347	995	11,568	10,435	1,134	39.4	11.9
米国	10,309	9,314	995	11,568	10,435	1,134	39.4	12.2
カナダ	33	33	0	0	0	0	0.0	△100.0
中南米								
ブラジル	198	0	198	154	0	154	0.5	△22.2
ジャマイカ	353	336	17	60	45	15	0.2	△82.9
コロンビア	2	0	2	2	0	2	0.0	53.1
ドミニカ共和国	223	0	223	0	0	0	0.0	△100.0
EU28	918	761	157	1,086	980	106	3.7	18.3
スウェーデン	278	278	0	358	343	15	1.2	28.5
スペイン	229	217	12	330	317	13	1.1	43.9
英国	164	76	88	102	53	49	0.3	△38.1
ドイツ	99	99	0	190	190	0	0.6	92.3
ベルギー	53	42	11	42	24	18	0.1	△20.1
イタリア	14	0	14	53	53	0	0.2	277.7
オランダ	49	49	0	2	0	2	0.0	△96.8
アジア大洋州								
中国	5,069	4,487	582	6,714	6,528	187	22.9	32.5
インド	5,073	5,073	0	5,813	5,813	0	19.8	14.6
シンガポール	1,141	0	1,141	1,369	0	1,369	4.7	20.0
日本	39	39	0	134	134	0	0.5	245.1
中東アフリカ								
合計(その他含む)	24,802	21,410	3,392	29,368	26,204	3,164	100.0	18.4

[注] ①各国統計局による、ベネズエラからの原油(HSコード2709)、石油製品(HSコード2710)輸入額。キューバ、ウルグアイ、ニカラグアなど一部の国・地域の統計局のデータは含まれない。

②国によって統計方法が異なるため、表内にCIF価格の輸入額、FOB価格の輸入額など混在する。

③地域分類は北米、中南米を除いて日本の外務省基準に基づく。

[出所] 各国税関データよりジェトロ作成

(注1) 545人(364人各市町村、181人8分野)の全員与党統一社会党(PSUV)で占められる2019年8月までの時限議会で、本来の国会の権利を全て剥奪し、野党を無力化した。

(注2) 2017年8月にペルーでベネズエラ情勢に関する米州地域の緊急外相会合が開催され、ベネズエラの制憲議会発足を認めないとした「リマ宣言」を採択。それに賛同した14カ国(アルゼンチン、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ガイアナ、セントルシア)のことをいう。